

◇◇近畿病院図書室協議会◇◇

平成 24 年度 第 39 回 総 会 報 告

日時：平成 25 年 3 月 19 日（火）

14：15～16：00

会場：キャンパスプラザ京都

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記 選出

議長：高須賀 京子

副議長：前垣 志穂

書記：小川 朋子

3 議案審議

1) 平成 24 年度活動報告

2) 平成 24 年度会計・監査報告

3) 審議事項

4) 平成 25 年度活動方針

5) 平成 25 年度事業計画

6) 平成 25 年度予算

7) 役員改選

8) 平成 25 年度会長・事務局長承認

(議案 3)～8) は審議の結果承認された)

閉会

総会員数：127 機関（うち議決権 122 機関）

出席：29 機関

委任状：73 機関

合計：102 機関（会員の 2/3 以上の数をもたし総会成立）

議案 I. 平成 24 年度活動報告

平成 24 年度事業活動としては、例年同様の多くの活動が行えた。研修会や勉強会は、充実した内容で、十分な回数を行うことができた。会

誌もユニークな企画で発行を重ね、また発行の遅れを取り戻すべく努力した。並行して、大阪大学生命科学図書館の諏訪敏幸氏による『系統的文献検索概説』を刊行した。統計調査は今年度は詳細調査の年に当たっていたが、86.4%という高い回答率で回答を得ることができた。ホームページについては全面的な改修により不具合をなくし、新たな機能を取り入れた。Kinki Webcat は東海地区医学図書館協議会および業者と話し合いをすすめ、新年度には病院図書館の総合 Web 目録として、あらたな一歩を踏み出すこととなる。

対外活動としては、DRF（デジタルリポジトリ連合）の呼びかけに応え、第 29 回医学情報サービス研究大会のワークショップに、病院図書館としてパネラーを派遣した。また 3 月には医療系の 6 図書館協議会が集まる国立ヘルスサイエンス情報センター検討委員会に出席した。

I-1. 協議会の運営

I-1-1. 会員の状況

会員数：125 機関（会員 120、賛助会員 5）

（2013 年 2 月現在）

入 会：2 機関 柏原赤十字病院、シュプリ
ンガー・ジャパン株式会社（賛助会
員）

退 会：4 機関 神奈川衛生学園専門学校、
岐阜社会保険病院、滋慶医療科学大
学院大学（平成 23 年度末退会）、晋
真会 ベリタス病院（平成 23 年度末
退会）

I-1-2. 役員会

1. 活動報告

平成 25 年 2 月 19 日、藍野大学において平成

24年度役員会(6名)が開催された。役員会資料(平成24年度議案書草案)に沿って議事進行し、平成24年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成25年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加・訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成25年度会長については井出千東藍野大学中央図書館長が選出された。また、事務局長には増田 徹(藍野大)が再選された。会則に則り、それぞれ今年度の第39回総会に諮ることになった。

2. 平成24年度役員

会 長：井出 千東

(藍野大学中央図書館長)

事務局長：増田 徹(藍野大)

幹 事：井上智奈美(三菱京)

川野 眞樹(京二赤)

佐藤 道子(県光風)

寺澤 裕子(関労災)

〈事務局会計兼任〉

畑 美之(阪警察)

松井美抄枝(大労災)

〈事務局総務兼任〉

松尾 知香(石切病)

監 査：石川 尚子(住友)

横山 晴香(滋賀医)

I-1-3. 幹事会

1. 活動報告

4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

第1回 2012年4月24日(火) 大阪5名

第2回 2012年7月30日(月) 大阪6名

第3回 2012年10月23日(火) 大阪6名

(うちオブザーバー1名)

第4回 2013年1月30日(水) 大阪5名

I-1-4. 事務局

1. 活動報告

(1) 総会・役員会・幹事会の開催

(2) 会計業務ならびに関係書類の整備

(3) ニュースレターの配信

17号(平成24年6月5日)

18号(平成24年9月5日)

19号(平成24年11月1日)

20号(平成24年12月25日)

21号(平成25年3月8日)

(4) 交流会の開催

第5回交流会 in 京都を開催した。

日 程：2012年11月11日(日)

場 所：キャンパスプラザ京都

参加者数：11名

(5) 電子ジャーナルのコンソーシアム価格の提案

3社(EBSCO、Springer、サンメディア)

のコンソーシアム価格提案資料を9月3日お

よび9月26日に会員に送付した。

(6) 対外活動

第29回医学情報サービス研究大会のワー

クショップ、「リポジトリで発信する医療情報・

病院図書館との連携：第2部」に、パネラー

を派遣(2012年8月26日)。

国立ヘルスサイエンス情報センター検討委

員会へ参加(2013年3月)。

(7) 総会記念講演

日 程：2013年3月19日(火)

時 間：13時00分～14時00分

場 所：キャンパスプラザ京都

2F 第一会議室

演 題：看護研究は何で行き詰まり、看護研究者は何を求めているか

大阪大学生命科学図書館

諏訪 敏幸氏

I-2. 各部からの報告

I-2-1. 研修部

1. 活動報告

2回の勉強会、3回の研修会、1回の共催実務者研修会を開催した。

(1) 研修企画

第34回勉強会

日 程：2012年7月28日(土)
 時 間：14時00分～17時00分
 場 所：京都第二赤十字病院 C棟1階
 多目的室

テーマ：新任者研修

プログラム：

- ① 近畿病院図書室協議会について
 藍野大学中央図書館 増田 徹
- ② 病院図書館の基本業務（整理と保管）
 京都桂病院図書室 椎木 淳美
- ③ KinkiWebcat の使い方
 大阪警察病院図書室 畑 美之
- ④ 文献入手（ILL）について
 奈良社会保険病院医学資料室
 山口 智子

⑤ 会員交流

⑥ 京都第二赤十字病院図書室見学

講 師：事務局長・研修部員

参加者：17名

第35回勉強会

日 程：2012年9月8日(土)
 時 間：11時00分～17時00分
 場 所：大阪医療技術学園専門学校
 第3校舎 3階PCルーム

テーマ：臨床支援ツールにふれてみよう

プログラム：

- ① 近畿病院図書室協議会 新HP説明会
 株式会社アルファミクス
 後藤田恵美氏
- ② UpToDate
 UpToDate 日本事務所 大崎 重治氏
- ③ The Cochrane Library
 株式会社サンメディア
 e-Port 東京オフィス
 長谷川智史氏
- ④ DynaMed
 EBSCO Publishing 大野 充章氏
- ⑤ ACP-PIER
 ユサコ株式会社 箱井 孝氏

参加者：36名

平成24年度日本医学図書館協会近畿地区会、
 日本薬学図書館協議会近畿・中四国・九州地
 区協議会、近畿病院図書室協議会共催 実務
 者研修会

日 程：2012年10月30日(火)

時 間：13時00分～16時30分

場 所：京都大学楽友会館2F会議・講演室

テーマ：相互貸借 ―わたしの悩み、わたしの
 工夫

プログラム：

- ① 基調講演
 大阪大学附属図書館生命科学図書館
 諏訪 敏幸氏
- ② 事例発表
 奈良県立医科大学附属図書館
 和田 崇氏
- ③ 事例発表
 京都府立医科大学附属図書館
 山下 ユミ氏

④ 事例報告・全体討論・意見交換

参加者数：10名（KHLA 関係）

第128回研修会

日 程：2012年11月29日(木)

時 間：9時00分～17時30分

テーマ：見学バスツアー 図書館を飛び出し
 て図書館を見に行こう

プログラム：

- ① トーハン大阪支店見学
- ② 国立国会図書館見学
- ③ 奈良散策
- ④ 天理大学附属天理図書館見学

参加者数：11名

第129回研修会

日 程：2013年1月12日(土)

時 間：11時00分～16時30分

場 所：大阪赤十字病院 講堂（本館4階）

テーマ：電子メディアの広がり と 病院図書館

プログラム：

- ① 子どもとメディア

大阪赤十字病院 小児科・図書委員長

住本 真一 氏

② 病院図書館員のための電子ジャーナル事
始め

日本赤十字社医療センター医学図書館

天野いづみ 氏

③ 医中誌 Web (Ver.5) バージョンアップ
説明会

医学中央雑誌刊行会 松田 真美 氏

④ 新所蔵雑誌目録 Web 版 (仮称) 説明会

株式会社ナレッジワイヤ

大西 幸雄 氏

⑤ 大阪赤十字病院図書室見学

参加者：37名 (講師・役員含む)

第130回研修会

日 程：2013年3月19日 (火)

時 間：10時00分～12時00分

場 所：キャンパスプラザ京都

2F 第一会議室

テーマ：事例・研究報告会

プログラム：

① 病院図書館とリポジトリ

藍野大学中央図書館 増田 徹 氏

② 図書室引越顛末記

湘南藤沢徳洲会病院 図書室

伊藤 友香 氏

③ 外国雑誌冊子体から電子ジャーナルへ

大阪労災病院 図書室 松井美抄枝 氏

④ 外国雑誌直接購入の試み

鳥取県立中央病院 図書室

中島 志乃 氏

(2) 研修部会議

第1回 2012年7月28日 (土) 京都7名

(うちオブザーバー1名)

第2回 2012年9月8日 (土) 大阪4名

第3回 2013年1月12日 (土) 大阪6名

研修部会は、勉強会や研修会の前後の時間を
利用したほか、電子メールにて会議を行った。

2. 今年度総括

今年度は藤原前部長が産休・育休に入ったの

で、増田が部長を務めた。藤原前部長および勤
務先を定年退職となった林前事務局長は協力部
員という形で研修部にかかわっていただいた。
研修部経験の比較的短い部員ばかりとなったの
で、思い切った企画も試みることができた。研
修会3回と勉強会2回、三図協共催実務者研修
会1回と例年通りの回数を行うことができ、基
本的には参加者数もそれなりにあり、会員の皆
さまには喜んでいただけたかと思っている。

3. 部 員

部 長：増田 徹 (藍野大)

部 員：椎木 淳美 (京都桂)

高橋 育子 (姫路マ)

畑 美之 (阪警察)

山口 智子 (奈社病)

協力部員：林 伴子 (元社神病)

藤原 純子 (音羽病)

I-2-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌31巻2、3、4号および32巻1号を発行。

配布部数：209部 (会員123、購読会員61、
交換・寄贈25)

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

31巻

2号 (発行2012年7月64頁)

特集：総会・事例報告会 (第124回研修会)

掲示物を使った図書室づくりとコミュニ
ケーション —公共・学校図書館での経験を
もとにして—

関西労災病院図書室の資料複製ルール

京都第二赤十字病院図書室の相互利用にお
ける文献複写業務 —NACSIS-ILL 相殺参
加後の変化相互貸借 (ILL) について —2
病院の実際を通してみえること—

3号 (発行2012年9月97頁)

特集：地域医療支援

地域医療支援病院の概要

地域医療支援病院の病院図書館の登録医へ

の支援

地域医療支援病院の図書館

4号(発行2012年12月73頁)

特集: PubMe (パブメ) 道(ドウ)への第一歩

MeSHとともにPubMedの海を渡ろう PubMed
の操作方法—まずはさわってみる—

PubMed 検索の練習問題+回答事例 PubMed
カスタマイズ LinkOut・MyNCBI

32巻

1号(発行2013年3月54頁)

特集: 大きなサイトの知らない部分

国立国会図書館の大小、さまざまなデータ
ベース—医学分野を中心に—

国立情報学研究所 CiNii
NCBI

Google Scholar の使い方

(2) シリーズ掲載

「いますぐ役立つホームページ」

31. 漢べき君

32. 読書メーター

「図書館員のツボ」

19. ラーニング・コモンズ

20. 心理尺度について

21. ラベルを作ってみよう!!—“オリジナル”
な受入ラベル—

22. シソーラス

「Libpedia—よくわかる用語解説—」

4. 接遇

5. 本の名称

「ちょっとこぼれ話」

33. (Vol. 31 No. 2)

34. (Vol. 31 No. 3)

35. (Vol. 31 No. 4)

36. (Vol. 32 No. 1)

(3) 掲載広告各社

サンメディア

ユサコ

医学中央雑誌刊行会

丸善

南江堂

(4) 編集会議

第1回 2012年4月21日(土) 茨木5名

第2回 2012年6月9日(土) 茨木6名
(オブザーバー含む)

第3回 2012年8月11日(土) 茨木5名

第4回 2012年11月18日(日) 茨木5名

第5回 2013年1月27日(日) 茨木5名

2. 今年度総括

今年度は発行の遅れを取り戻すべく4~5冊発行を目標に編集作業に取り組んだ。4冊発行にとどまったが、次号は5月までには発行できる予定である。また32巻4号までは原稿が到着している。

図書の出版作業では、『系統的文献検索概論』を発行でき、会員へ配布した。医学系図書館員の必読書となるだろう。また『わかる医学用語』の改訂版の執筆も徐々に進んでいる。来年度の発行を目指したい。

今年度は、今まで以上に部員一同が健闘したが、そこまでの無理をしても印刷所との兼ね合いもあり4冊発行というのが、現在の部員が置かれている状況である。部員の中には、図書館業務は兼務の一つであったり、上司から編集作業を業務としてみなされていないものもいる。身を削っての編集作業では、年4回の発行回数を維持することに限界を感じている。発行回数
の改定を提案したい。

また、会員から執筆を断られることが多くなってきた。依頼する側としては多忙な中での無駄足にモチベーションが下がる原因となっている。編集作業は編集部員しかできないが、原稿の執筆や特集の提案など、自身が編集作業をしない代わりに少しでも協力しようという会員の皆さまからの積極的な活動が得られることを期待している。

3. 部員

部長: 井上智奈美(三菱京)

部員: 寺澤 裕子(関労災)

前垣 志穂(八鹿病)

増田 徹(藍野大)

松尾 知香 (石切病)

I-2-3. 統計調査部

1. 活動報告

今年度の統計調査は、平成 23 年度の会員図書館の実状について調査した。調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は詳細調査の年にあたり、年次統計調査を実施したが、今回調査内容の見直しを行い基本情報と統計部分をわけ、提出様式を変更した。

2. 図書室統計調査報告書の発行

- a. 調査対象期間：2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
- b. 調査対象：全 123 会員施設中、賛助会員を除く 118 施設に依頼
- c. 調査項目：年度統計調査および図書室機能調査

d. 作業経過：

- 2012 年 9 月 14 日 調査用紙を各施設へ発送
- 2012 年 9 月 14 日 ホームページに統計調査 発送の告知と回答依頼
- 2012 年 10 月 31 日 回答締切日
- 2012 年 11 月 13 日 回答受領確認メール送信、第 1 回督促 FAX 送信
- 2013 年 1 月 22 日 第 2 回督促 FAX 送信
- 2013 年 1 月 集計開始
- 2013 年 2 月 4 日 データチェック、集計方法検討
- 2013 年 2 月 28 日 報告書発送

e. 回答施設：102 施設 (回答率 86.4%)

3. 文献の相互利用 —平成 23 年度協議会全体での件数—

- a. 総件数：〈相互貸借依頼〉 40,505 件
〈相互貸借受付〉 19,370 件
- b. 施設ごとの集計件数：

〈相互貸借依頼〉 (102 施設)		
協議会会員	8,745	22.6 (%)
会員以外の病院	3,967	10.2 (%)

大学図書館	14,142	36.5 (%)
文献手配業者	8,817	22.7 (%)
国立国会図書館	1,677	4.3 (%)
その他	1,435	3.7 (%)
	<hr/>	
	38,783	(100.0%)
相手先未集計	1,722	
	<hr/>	
	40,505	

〈相互貸借受付〉 (102 施設)

協議会会員	9,639	50.0 (%)
会員以外の病院	7,672	39.8 (%)
その他	1,962	10.2 (%)
	<hr/>	
	19,273	(100.0%)
相手先未集計	97	
	<hr/>	
	19,370	

(2013 年 2 月 15 日)

4. 今年度総括

今年度は詳細調査を行った。昨年度調査時は 88 施設 (71.5%) からの回答であったが今年度調査では 102 施設 (86.4%) からの回答を得ることができた。調査内容の見直しを行い、施設調査部分・年度統計部分に分け、回答用紙も基本票・調査票と別用紙とした。督促作業は 2 回行い調査協力を要請した。基本票を公開することを前提に収集することにしていたため基本票だけでも提出してくれるよう協力を要請したところ、さらに 8 施設からの提出並びに内容確認があり、基本票に関しては回収率 93.2% となった。しかし全く反応の無かった施設が数機関あったことは残念であった。

集計時には、単位の取り方については概ねそろったものとなっていたが、年間受入数と蔵書数の混同が若干みられた。回答用紙ならびに記入方法の説明にさらなる工夫が必要と思われる。また集計結果の公開方法については、生データの提供を望む声もあるが、各施設の事情もあって公開には至っていない。今年度の調査では基本票に限り、公開を前提に情報収集を行い報告書の作成を行ったが、統計部分の報告方法も含

め報告書の様式については今後の検討課題としたい。

統計調査は協議会活動の一つで、会発足後初期の段階から開始し病院図書館の貴重な資料となっている。今年度の調査では多数の会員の協力を得ることができたが、次年度以降も自館の状況を知ると同時に、ネットワーク全体の動向を知るための基礎資料であることを考え、統計調査への参加を会員の義務として一層の協力を願いたい。

5. 部 員

部 長：佐藤 道子（県光風）
協力部員：林 伴子（元社神病）
増田 徹（藍野大）

I-2-4. ホームページ WG

1. 活動報告

2012年9月8日 ホームページリニューアル
2012年9月中旬 会員のユーザー登録開始

2. 今年度総括

ホームページをリニューアルしたことにより、これまで使用していたプログラムによる不具合がすべて解消され、ホームページの更新作業も編集ソフトで簡便に行えるようになった。

新しいWebサイトでは、今までの「会員専用ページ」からSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用した「コミュニティサイト」に名称を変更し、会員間のつながりを促進・サポートする新しいサイトをオープンした。新しいサイトでは、会員一人ひとりにIDとパスワードが必要となるため、事前にメールアドレスによるユーザー登録が必要である。ユーザー登録をすることにより、会員専用のマイページ利用が可能となるが、ユーザー登録が完了していてもまだ利用されていない会員が多くあるようなので、今後はコミュニティサイトの利用促進を目指し、広報活動に力を入れ活動を行っていきたいと考えている。

3. 部 員

部長：佐藤 道子（県光風）

部員：寺澤 裕子（関労災）

I-2-5. 目録サポートチーム

1. 活動報告

- (1) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web版（通称：Kinki Webcat）概要（2013年1月時点）

<http://webcat.sunmedia.jp/khlacat/>

登録機関数：122 機関

登録タイトル数：4,715 タイトル

（うち、メディカルオンライン
タイトル：930）

所蔵レコード数：40,443 レコード

（うち、メディカルオンライン
：15,810（17 機関））

- (2) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web版 利用状況（2012年1～12月）

トップページアクセス：39,114

雑誌検索利用ログ： 90,203

機関検索利用ログ： 9,154

- (3) 近畿病院図書室協議会、東海地区医学図書館協議会、合同目録システム会議

日 時：2012年7月7日（土）

13時00分～17時00分

場 所：京都第二赤十字病院

参加者：8名

- (4) 近畿病院図書室協議会、東海地区医学図書館協議会、合同目録システム会議

日 時：2012年9月29日（土）

13時00分～18時30分

場 所：京都第二赤十字病院

参加者：6名

- (5) 目録サポートチーム会議

日 時：2013年1月12日（土）

16時30分～18時30分

場 所：大阪赤十字病院

参加者：3名

2. 今年度総括

今年度、目録サポートチームは4名で活動した。活動として円滑な会員間の文献複写の相互

利用に繋がるよう、会員の実情に合わせ電子ジャーナルの書誌マスタ登録を始めるなど、Kinki Webcat の整備を行い、今後の運用について会議を開催した。

昨年度より引き続き目録システム業者（ナレッジワイヤ）によるサーバーのクラウド化に伴う保守管理費の大幅な値上げに対し、Kinki Webcat と同システムを使用している東海地区医学図書館協議会（TOMcat）とナレッジワイヤで合同会議を開催し、新目録システムの協議を行った。協議の結果、新目録システムは次年度に本稼働と決定した。本稼働前の2012年12月にプレオープンし、2013年1月の近畿病院図書館協議会第129回研修会で説明会を行った。正式名称とURLについては検討中ではあるが、本稼働までに決定する予定である。本稼働後は当協議会ホームページの目録ページも変更を予定している。新目録システムについては会員のための目録システムとして活用を図るため、従来の郵送による通知に加え、ホームページWGとも連携し当協議会ホームページ上での案内なども含めて会員に対し細やかなサポートを行い、会員間の円滑な相互利用を目指して活動を行っていきたいと考えている。また、目録サポート

チームの活動においては昨年度より部員人数が減ったが、活動量は減少してないため、会員の皆さまには新部員として参加をお願いしたいと考えている。

3. 部員

部長：川野 真樹（京二赤）

部員：春日井泉江（名記）

高須賀京子（松山市）

高橋真由美（島根）

I-3. 会員業績（当協議会内関係での発表は除く）

(1) 川野真樹（京二赤）

事例 NO. 59 情報の在り処：剖検データ調査/

事例 NO. 60 1800年代の資料相談

医学図書館 2012:59(2):146-8.

(2) 増田 徹（藍野大）

パネルディスカッション

「医療情報と機関リポジトリ～現場からの声～」in「リポジトリで発信する医療情報 一病院図書館との連携一」

第29回医学情報サービス研究大会（築地）

2012年8月26日

議案Ⅱ. 平成24年度会計・監査報告

(資料1) 平成24年度予算

■収入の部			(単位:円)
科 目	金 額	備 考	
正会員会費	3,930,000	122施設×30,000円、未取分270,000円	
賛助会員会費	200,000	4施設×50,000円	
購読会員会費	154,500	21施設×6,000円、4,500円(31巻) 未取/後納 4×6,000円(30巻)	
広告掲載料	232,000	31巻×5社	
前年度繰越金	5,246,145		
合 計	9,762,645		

■支出の部		
科 目	金 額	備 考
〔事業費〕		
研修部	400,000	
会誌編集部	350,000	31巻2~4号、32巻1~4号分 @5万
統計調査部	100,000	
目録サポートチーム	100,000	
ホームページWG	100,000	
対外活動費	100,000	関連団体への派遣費用
その他事業	800,000	研究助成金3件×10万円、交流会4回×5万、 会誌バックナンバー電子化・新規事業など(30万円)
事業費合計	1,950,000	
〔管理費〕		
会誌発行費	5,100,000	31巻、32巻 7号分×41万、 本出版費用(諏訪氏120万、濱口氏100万)
目録メンテナンス費	200,000	月額1万円
HPメンテナンス費	1,500,000	ウェブサイト再構築費用
資料費	25,000	情報の科学と技術20,916円
資料管理費	30,000	日達物流(協議会資料)
会議費	100,000	総会、幹事会(総会は平成23年度分を含む)
旅費交通費	300,000	総会参加助成金3万円×5人を含む
通信運搬費	100,000	郵送料1回およそ1万円
印刷製本費	50,000	総会資料
諸謝金	55,000	総会特別講師 5万円(平成23年度分)
消耗品費	30,000	
業務委託費	70,000	
予備費	220,000	
雑費	32,645	
管理費合計	7,812,645	
合 計	9,762,645	

(資料2) 平成24年度活動計算書

平成24年3月1日～平成25年2月28日

(単位:円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員	3,870,000		
賛助会員	250,000		
正会員入会金	10,000		
賛助会員入会金	10,000	4,140,000	
2. 受取寄付金	0	0	
3. 事業収益			
会誌購読会費	369,000		
研修会参加費	4,500		
広告掲載料	82,000		
刊行物売上	241,430		
メディカルオンライン使用料	6,157	703,087	
4. その他収益			
利息	653		
雑収入	10,000	10,653	
経常収益計			4,853,740 ①
II 経常費用			
1. 事業費			
研修部	482,277		
会誌編集部	195,165		
統計調査部	37,550		
ホームページWG	42,730		
目録サポートチーム	118,005		
対外活動費	39,590		
その他事業	155,055		
事業費計		1,070,372	
2. 管理費			
会誌発行費	3,104,530		
目録メンテナンス費	105,420		
ホームページメンテナンス費	968,201		
資料費	20,916		
資料管理費	22,890		
会議費	38,886		
旅費交通費	50,360		
通信運搬費	95,710		
印刷製本費	49,210		
諸謝金	50,000		
消耗品費	3,927		
業務委託費	0		
予備費	128,940		
雑費	28,455		
管理費計		4,667,445	
経常費用計			5,737,817 ②
当期正味財産増減額			△ 884,077 ③
前期繰越正味財産額			5,246,145 ④
次期繰越正味財産額			4,362,068 ④

①+③=10,099,885

②+④=10,099,885

(資料3) 平成24年度経常費用事業費内訳

(単位:円)

	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	資料費	贈附金	消耗品費	業務委託費	雑費	計
1. 事業費										
研修部	48,483	214,490	31,010	57,370		123,000	4,924		3,000	482,277
会誌編集部	8,350	43,920	67,150			70,420	5,325			195,165
統計調査部	4,970	2,800	13,150	9,440			7,190			37,550
ホームページWG	4,610	5,000	9,520				23,600			42,730
目録ST	6,685	96,110	9,360	5,850						118,005
対外活動	7,230	23,400	8,960							39,590
その他の事業	29,944	19,650	9,480		95,981					155,055
事業別合計	110,272	405,370	148,630	72,660	95,981	193,420	41,039	0	3,000	1,070,372

(資料4) 貸借対照表兼財産目録

平成25年2月28日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手元現金	529,604		
三井住友銀行	53,103		
ゆうちょ銀行 (総合)	1,934,811		
ゆうちょ銀行 (振替)	1,844,550		
流動資産合計		4,362,068	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,362,068
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	5,246,145		
当期正味財産増減額	△ 884,077		
正味財産合計			4,362,068
負債および正味財産合計			4,362,068

平成 24 年度活動計算書

平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員	3,870,000	
賛助会員	250,000	
正会員入会金	10,000	
賛助会員入会金	10,000	4,140,000
2. 受取寄付金	0	0
3. 事業収益		
会誌購読会費	369,000	
研修会参加費	4,500	
広告掲載料	82,000	
刊行物売上	241,430	
メディカルオンライン使用料	6,157	703,087
4. その他収益		
利息	653	
雑収入	10,000	10,653
経常収益計		4,853,740 ①
II 経常費用		
1. 事業費		
研修部	482,277	
会誌編集部	195,165	
統計調査部	37,550	
ホームページ部	42,730	
目録ST	118,005	
対外活動	39,590	
その他の事業	155,055	
事業費計		1,070,372
2. 管理費		
会誌発行費	3,104,530	
目録メンテナンス費	105,420	
HPメンテナンス費	968,201	
資料費	20,916	
資料管理費	22,890	
会議費	38,886	
旅費交通費	50,360	
通信運搬費	95,710	
印刷製本費	49,210	
諸謝金	50,000	
消耗品費	3,927	
業務委託費	0	
予備費	128,940	
雑費	28,455	
管理費計		4,667,445
経常費用計		5,737,817 ②
当期正味財産増減額		-884,077 ③
前期繰越正味財産額		5,246,145 ④
次期繰越正味財産額		4,362,068

①+②=10,099,885
②+④=10,099,885

貸借対照表兼財産目録

平成 25 年 2 月 28 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
手元現金	529,604	
三井住友銀行	53,103	
ゆうちょ銀行(総合)	1,934,811	
ゆうちょ銀行(振替)	1,844,550	
流動資産合計		4,362,068
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		4,362,068
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	5,246,145	
当期正味財産増減額	-884,077	
正味財産合計		4,362,068
負債及び正味財産合計		4,362,068

平成 24 年度経常費用事業費内訳

(単位：円)

	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	資料費	諸謝金	消耗品費	業務委託費	雑費	計
1. 事業費										
研修部	48,483	214,490	31,010	57,370		123,000	4,924		3,000	482,277
会誌編集部	8,350	43,920	67,150			70,420	5,325			195,165
統計調査部	4,970	2,800	13,150	9,440			7,190			37,550
ホームページ部	4,610	5,000	9,520				23,600			42,730
目録ST	6,685	96,110	9,360	5,850						118,005
対外活動	7,230	23,400	8,960							39,590
その他の事業	29,944	19,650	9,480		95,981					155,055
事業別合計	110,272	405,370	148,630	72,660	95,981	193,420	41,039		3,000	1,070,372

平成 24 年度活動計算書と事業費内訳、貸借対照表兼財産目録を監査した結果、適法に処理、記載されていると認めます。

平成 25 年 3 月 6 日

石川尚 監

横山晴香 監

議案Ⅲ. 会費未払い施設の退会について

過去に会費未納があった施設に対し、2012年2月1日付にて会費納入の督促と会員継続についての意志を尋ねた。その後5月22日付にて、依然会費未納の施設に、当協議会からの発送物停止の通知と、未納のままだと当協議会からの退会を勧告せざるを得ない旨を伝えた。結局4施設が過去の会費未払いについて会費納入に至らなかったことから、今年度をもって強制退会処分としたい。

(提案者：事務局 資料6参照)

(資料6) 会費未払い施設一覧

施設名	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
奈良県立奈良病院	×	×	×	×	×	×	×
兵庫県立塚口病院		×	×				
高砂西部病院			×	×	×	×	×
東大阪生協病院					×	×	×

☒ は未払い

議案Ⅳ. 会誌発行回数の変更について

年間4冊発行と発行遅れの回復を同時に行うのは、部員の勤務状況を考えると現状では難しい。ついては発行遅れを取り戻すまでは年2回発行に変更したい。また発行ペースが戻り編集体制が整えば、会誌編集部で検討した上で年4回発行への変更を総会に提案することにした。

(提案者：会誌編集部)

議案Ⅴ. 名簿の一本化について

現在名簿は、事務局が管理しているもの、Kinki Webcatで管理しているもの、年に一度会誌編集部が確認・編集し発行しているものの3つがある。また平成24年度は、統計調査の基本票が名簿の内容を確認するツールとして使用された。名簿が多数存在することで最新情報の把握に混乱をきたすので、今後は目録システムで管理するものに一本化し、各会員が常に最新の

情報をアップしていただくようお願いすることにした。ただし、年度ごとに会員名簿を記録することには意義があるので、毎年度のある時点で名簿をデータで作成し、それを残していくことにしたい。

(提案者：事務局)

議案Ⅵ. 会報および会誌「病院図書室」の会員への公開について

会誌「病院図書館」(第20巻以降)については、大部分メディカルオンラインにて電子化されており、また所蔵している施設も多く存在する。しかし会報および会誌「病院図書室」(第1~19巻)については、残部の希少なものもあり、内容の保存のため電子化の必要に迫られ、本年度予算にて実現した。当初これらは内部資料として保存するだけにとどめるつもりであったが、これは当協議会のみならず、病院図書館界の軌跡であり、歴史そのものである。ぜひ当協議会の財産として、若い病院図書館員たちの目に届くところにおいておきたいと考えるが、著作権の所在を意識する前の時代のことであり、これらの資料に関しては著作権が当協議会にない。現在当協議会ホームページ内に、会員だけが見ることのできるページを開設しているが、そこにこれらのデータを置き、会員の閲覧が可能であるようにすることについてのご意見を伺いたい。

(提案者：事務局)

議案Ⅶ. 平成25年度活動方針

この数年は幹事や各部の部員から、当協議会運営に非協力的な一部会員についての不満を聞くことが増えている。各会員の当協議会に対するスタンスはいろいろな形があるだろうが、図書館協議会は本来専門職としての図書館員が、自己研鑽や職務における成果獲得のために自発的・積極的にかかわるものであり、会費を支払

うことで他人任せにできる消費行動ではない。会費は全員が払っており、その一方で運営に協力している人たちは、無報酬で他の人たちのために時間や労力を割いている。これまでは、当協議会内の一部の人間で運営することができてきたが、その人数の確保すら危うくなってきており、当協議会の十全な運営に支障をきたしはじめています。核となる会員がもう1人2人当協議会の運営から離れるだけで、たちまち当協議会がたちゆかなくなるところまで来ている。会員の皆さま一人一人が、図書館協議会の存在意義についてもう一度考えていただきたい。

研修会や勉強会は、経験のある前部長が復帰することにより、いっそう充実したものが期待される。会誌の発行は現在の発行頻度を継続することが難しくなっているが、今後も内容のレベルの維持が望まれる。来年度は濱口恵子氏の「わかる医学英語」改訂版の出版も予定されている。ホームページは大幅な改修を行ったが、会員に十分利用されているとはいえない。新しい機能が会員に親しまれるよう、運用の仕方にさらなる工夫が必要と考えている。Kinki Webcatは、新しい局面を迎えることとなり、それに応じて目録へのスタンスも変わることになるであろう。一方でこれは今後大きな対外交流につながる可能性もある。これからも会員の業務に資するよう、よい形を見極めてよい方向へ向かっていきたい。

議案Ⅷ. 平成25年度事業計画

1. 教育研修活動
 - * 研修会・勉強会の開催
 - * 研修会参加交通費の助成
 - * 関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
 - * 研究助成金制度の継続
 - * 総会参加助成制度の継続
 - * 地域交流会の継続
2. 出版広報活動
 - * 会誌「病院図書館」の発行
 - * 図書の出版
 - * ホームページの公開とそのメンテナンス
 - * 会誌・会報バックナンバーの収集保存および公開
 - * ニュースレターの発行
3. 医学文献情報活動
 - * 医学雑誌現行情報の収集
 - * 雑誌総合 Web 目録の新たな整備
4. 年次統計などの調査活動
 - * 年次統計と相互貸借の調査
5. 対外活動
 - * 関連団体との交流・連携

議案Ⅸ. 平成 25 年度予算案

(資料 7) 平成 25 年度予算案

■収入の部		(単位:円)
科 目	金 額	備 考
正会員会費	3,480,000	116 施設×30,000 円
賛助会員会費	250,000	5 施設×50,000 円
購読会員会費	108,000	18 施設×6,000 円
広告掲載料	370,000	31 巻×3 社、32 巻×4 社
前年度繰越金	4,362,068	
合 計	8,570,068	

■支出の部		
科 目	金 額	備 考
〔事業費〕		
研修部	500,000	
会誌編集部	500,000	32 巻 1~4 号分 @5 万、33 巻分 4 回 (2 回 2 万、2 回 5 万)、取材費など
統計調査部	200,000	H24 年度統計送料なども含む。
ホームページ WG	140,000	
目録サポートチーム	150,000	
対外活動費	250,000	関連団体への派遣費用
その他事業	700,000	研究助成金 3 件、交流会 2 回、新規事業など
事業費合計	2,440,000	
〔管理費〕		
会誌発行費	3,760,000	32 巻、33 巻 6 号分×41 万、本出版費用 (濱口氏 130 万)
目録メンテナンス費	150,000	月額 1 万円
Hp メンテナンス費	1,200,000	272,550 円 (H24)、改修費
資料費	23,000	情報の科学と技術 20,916 円
資料管理費	40,000	協議会資料
会議費	100,000	総会、幹事会 (総会は H23、24 年度分)
旅費交通費	250,000	総会参加助成金 3 万円×5 人を含む
通信運搬費	100,000	郵送 1 回につき約 1 万円
印刷製本費	50,000	総会資料など
諸謝金	55,000	総会特別講師 5 万円 (H23 年度分)
消耗品費	150,000	封筒代含む
業務委託費	20,000	
予備費	200,000	
雑費	32,068	
管理費合計	6,130,068	
合 計	8,570,068	